

麻しんワクチンの緊急接種(任意接種)を希望される方へ

1. 麻しんとは

高熱、全身の発疹(ほっしん)、カタル症状(せき、鼻水など)、結膜充血などを特徴とし、空気感染・飛沫感染・接触感染を感染経路とする感染力の非常に強いウイルス感染症です。肺炎、中耳炎、下痢等を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われており、重症化すると命に関わる感染症です。

【主な症状】

感染すると10日から12日の潜伏期間を経て、発熱、せき、鼻水など風邪のような症状で発症します。2日から3日発熱が続いた後に、39度以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。発症する1日前から解熱後3日くらいまで周りの人に感染させる力があります。

過去のワクチン接種の効果が弱まっていた等、麻しんに対する免疫をもってはいるが不十分な状態の場合は、罹ったとしても症状が軽く(高熱が出ない、発熱期間が短い、発疹が限局性など)、周りの人への感染力も弱いことが多いです。これを修飾麻しんといいます。

麻しんウイルスは感染力が強く、空気感染・飛沫感染・接触感染するので、手洗い、マスクのみでは予防できません。予防接種が最も有効な予防法です。また、麻しんの患者さんに接触した場合、72時間以内に麻しん含有ワクチンの接種をすることで、麻しんの発症を予防できる可能性があります。

2. 対象者(保健所により特定された「接触者」であり、下記項目すべてに当てはまる人が対象です。接種歴は「記録」で確認します。)

- ① 1972年10月1日以降に生まれた人
- ② 生後6か月以上の人
- ③ 麻しん患者と最初に接触してから72時間以内の人
- ④ 麻しんに感染したことがない人で、かつ、いずれかに該当する人
 - ・ワクチン未接種の人
 - ・ワクチンの接種歴が1回の人
 - ・ワクチン接種歴が不明の人
 - ・ワクチンの接種歴が2回だが、2回接種後の抗体検査により抗体価が低いことが分かっていた人で、未接種であった人(4回以上の接種は推奨されていません)

※ 例外:保健所において特に緊急接種が必要と判断される人

3. 使用するワクチン

MRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)

4. 接種費用

費用はかかりません。

(保健所で緊急接種対象者と判断され、県が指定する拠点医療機関で接種した場合に限る。)

5. 接種を受けることができない人

① 妊娠をしている人 及び 妊娠している可能性がある人

※ MRワクチン接種後は少なくとも2か月間の避妊が必要です。万が一、ワクチンを接種した後に妊娠がわかった場合は、かかりつけの産婦人科の先生にご相談下さい。

② ワクチンを受ける6か月以内に人免疫グロブリン(血液製剤の一種で、重症の感染症の治療 などに使われます) の注射あるいは輸血を受けたことがある人

③ 注射生ワクチン(麻しん風しん混合、麻しん、風しん、BCG、水ぼうそう、おたふくかぜ、黄熱ワクチンなど) の接種後、27日以内の人

④ 発熱(37.5℃以上)している人

⑤ 重い急性疾患にかかっている人

⑥ MRワクチンに含まれる成分(接種医におたずねください) でアナフィラキシーという重いアレルギー反応を起こしたことがある人

⑦ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する人及び免疫抑制をきたす治療を受けている人

⑧ 接種医が予防接種を受けることが不適当と判断した人

6. 接種を受けるときに注意が必要な人(かかりつけ医へご相談ください。)

① 先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液、脳神経、発育発達の病気、悪性腫瘍など何らかの病気がある人

② これまでの予防接種で2日以内に発熱がみられた人、または、アレルギーを疑う症状(全身の発疹やじんましんなど) がみられた人

③ これまでにけいれんを起こしたことがある人

④ MRワクチンに含まれる成分(接種医におたずねください) でアレルギーを起こすおそれのある人

⑤ 薬や食べ物でアレルギーを疑う症状(全身の発疹やじんましんなど) がみられた人

⑥ 接種当日の体調が普段と異なる人

⑦ 家族や周りで最近1か月以内に麻しん、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜにかかったことがある人がいる場合

⑧ 最近1か月以内に何か病気にかかったことがある人

7. MRワクチンの副反応

MRワクチンを初めて受ける場合は、子どもでも大人でも接種後7～10日ごろに熱が出ることがあります。また同じころに発疹が出ることがありますが、通常数日で治ります。2回目以降の場合は、発熱や発疹がみられることは稀です。

MRワクチンに限ったことではなくワクチン全般で言われることですが、稀に接種後 30 分以内にアナフィラキシーという重いアレルギー反応や、血管迷走神経反射による顔色不良、気分不良、血圧低下や失神を認める方がいますので、接種を受けた後は30分間程度は、接種を受けた医療機関などで様子を観察しましょう。

また、帰宅後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関及びかかりつけ医へご相談ください。

8. 健康被害救済制度について

極めて稀ではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、健康被害救済のための制度が設けられています。

通常の任意接種と同様に、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構法(PMDA法)」に基づく「医薬品副作用被害救済制度」により救済を受けることができますので、詳しくは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)にご相談ください。

○ 救済制度窓口:0120-149-931

受付時間 午前9:00～午後5:00/月～金(祝日・年末年始を除く)

9. その他注意すること

- ・ 接種当日の入浴は可能ですが、接種部位を清潔に保ち、はげしい運動をひかえ、体調をよく観察しましょう。もし、何か気になる症状がみられた場合は接種医に相談しましょう。

- ・ 予診票はこれまでの様子を知るための重要な情報ですので、正しく記入しましょう。

※ 18歳未満の者は、保護者の同意が必要です。予診票の署名は保護者に記載いただきます。

※ なお、やむを得ない事情により保護者が予診票の署名できない場合は、本紙の下記にある接種同意欄に保護者署名をいただくことで、予診票への署名の代わりとすることを可能とします。

■ 保護者の方へ(同伴しない場合)

保護者が同伴しないことから、保護者の同意(署名)が必要になります。

本紙を読み、ワクチンのリスクや接種後の注意などを十分ご理解いただいた上で、お子さんに接種することとを決めてください。

接種を希望する場合は、下記の「保護者氏名・緊急時の電話番号」をご記入ください。

(記入漏れがあると予防接種は受けられません。)

本紙「麻しん含有ワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)の緊急接種(任意接種)を希望される方へ」を読み、予防接種の効果や目的、副反応発症の可能性及び救済制度などについて理解した上で、子どもに予防接種させることに同意します。

保護者の署名

緊急時の電話番号

※ 接種時には、本人確認書類の持参が必要です。